

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主 要 投 資 象	ベビーファンド	ダイワ・ブラジル株式マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	ブラジルの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにブラジルの企業のＤＲ（預託証券）
マザーファンドの運用方法	①主としてブラジルの株式（※）に投資し、中長期的にベンチマーク（ボベスパ指数（円換算））を上回る投資成果をめざして運用を行ないます。 ②経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。 ④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 ※株式…ＤＲ（預託証券）を含みます。	
組 入 制 限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、収益分配前の基準価額が10,000円（1万口当り）を上回る場合に、当該超過額の範囲内で委託会社の判断により分配を行ないます。ただし、基準価額の動向等によっては、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・ブラジル株式ファンド

運用報告書（全体版）

第32期（決算日 2016年 3 月22日）
第33期（決算日 2016年 6 月20日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ブラジル株式ファンド」は、このたび、第33期の決算を行ないました。

ここに、第32期・第33期中の運用状況を報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ボベスパ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	純資産 総 額
		税込み 分配金	期 中 騰落率	(ベンチマーク)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期末 (2014年 3 月20日)	4,819	0	△ 12.1	5,831	△ 11.3	97.3	—	4,768
25期末 (2014年 6 月20日)	5,843	0	21.2	7,280	24.9	97.0	—	5,389
26期末 (2014年 9 月22日)	6,141	0	5.1	7,648	5.1	97.0	—	5,173
27期末 (2014年12月22日)	5,230	0	△ 14.8	6,411	△ 16.2	97.5	—	4,262
28期末 (2015年 3 月20日)	4,453	0	△ 14.9	5,373	△ 16.2	95.4	—	3,667
29期末 (2015年 6 月22日)	4,987	0	12.0	6,124	14.0	96.4	—	4,130
30期末 (2015年 9 月24日)	3,202	0	△ 35.8	3,750	△ 38.8	95.3	—	2,679
31期末 (2015年12月21日)	3,224	0	0.7	3,843	2.5	96.9	—	2,626
32期末 (2016年 3 月22日)	3,738	0	15.9	4,552	18.5	96.9	—	3,031
33期末 (2016年 6 月20日)	3,601	0	△ 3.7	4,366	△ 4.1	97.5	—	2,831

(注 1) ボベスパ指数 (円換算) は、ボベスパ指数 (配当込み、ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

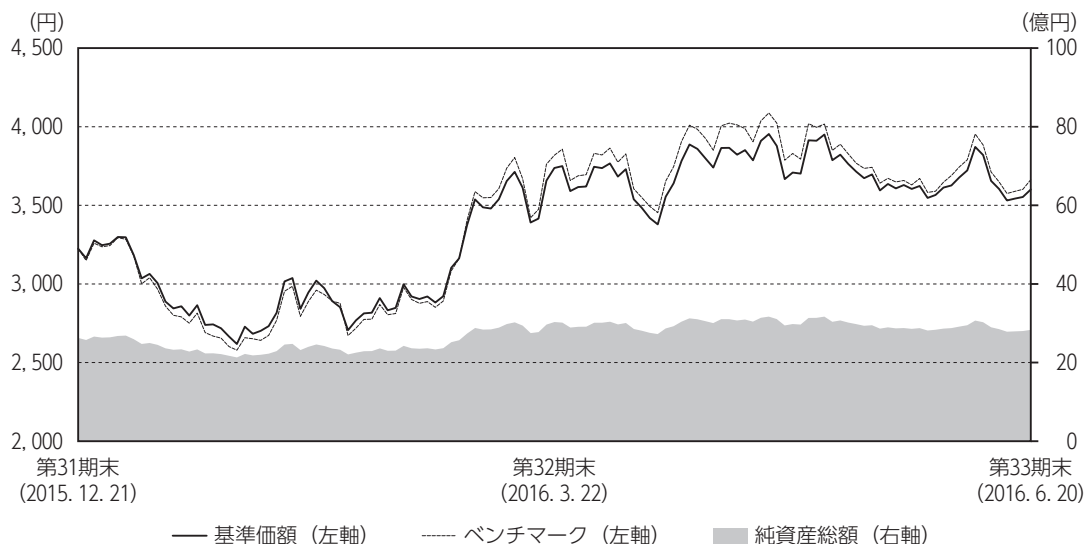
(注 2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 3) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、第31期末の基準価額をもとに指数化したものです。

* ベンチマークは、ポペスパ指数（円換算）です。

■基準価額・騰落率

第32期首：3,224円

第33期末：3,601円

騰落率：11.7%

■基準価額の主な変動要因

ブラジル株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。日銀のマイナス金利導入、中国景気の減速懸念の後退、商品市況の反発、ルセフ大統領の弾劾を受けた政権交代への期待などから、ブラジル株式は上昇しました。為替相場は、ブラジル・レアルは円に対してほぼ横ばいの動きとなりました。米国の利上げを受けて新興国全般に対する資金流出懸念などがレアルの下落要因となった一方、株式市況の上昇などでリスク回避姿勢が和らいだことが上昇要因となりました。

ダイワ・ブラジル株式ファンド

	年 月 日	基 準 価 額		ボベスパ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
			騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
第32期	(期首) 2015年12月21日	円 3, 224	% —	3, 843	% —	% 96. 9	% —
	12月末	3, 297	2. 3	3, 914	1. 9	96. 8	—
	2016年 1 月末	2, 816	△ 12. 7	3, 299	△ 14. 1	96. 2	—
	2 月末	2, 882	△ 10. 6	3, 398	△ 11. 6	96. 6	—
	(期末) 2016年 3 月22日	3, 738	15. 9	4, 552	18. 5	96. 9	—
第33期	(期首) 2016年 3 月22日	3, 738	—	4, 552	—	96. 9	—
	3 月末	3, 767	0. 8	4, 606	1. 2	97. 3	—
	4 月末	3, 954	5. 8	4, 872	7. 0	97. 6	—
	5 月末	3, 623	△ 3. 1	4, 375	△ 3. 9	97. 6	—
	(期末) 2016年 6 月20日	3, 601	△ 3. 7	4, 366	△ 4. 1	97. 5	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○ブラジル株式市況

ブラジル株式市況は、第32期首から、石油会社をめぐる汚職事件や政局に対する懸念に加えて、ブラジル中央銀行の利上げ観測や原油価格の下落などを背景に、下落基調となりました。その後も、中国景気の減速に対する懸念や商品価格の続落を受けて一段安となりました。2016年2月以降は、日銀がマイナス金利政策を導入したこと、中国景気の減速懸念が後退したこと、商品価格が反発に転じたことを背景に、反発基調となりました。第33期に入っても、ルセフ大統領の弾劾による政権交代への期待が高まったことや中国景気に対する悲観的な見方が後退したことなどから、続伸しました。4月には、議会においてルセフ大統領の弾劾案が可決され、新大統領への期待が高まったため上昇が続き、5月に入り新政権が発足した後は、ブラジルの景気動向への懸念や米国の利上げ観測に加えて、相次ぐ閣僚の辞任などを受けて上昇幅を縮小させましたが、第32期首比では上昇しました。

○為替相場

ブラジル・レアルは、第32期首から、政局の混乱により財政再建の遅れが警戒されたことに加え、米国が政策金利の引き上げを決定したことを受けて新興国全般に資金流入の減少が懸念されたことから、下落しました。その後も、中国経済の不透明感、世界的な株式市況の急落、原油価格の下落などによりリスク回避の姿勢が強まったため、新興国・資源国通貨に下落圧力が掛かりました。2016年3月に入ると、原油価格が底打ちし株式市況が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだこと、汚職捜査が政権中枢へ近づくにつれて政権交代期待が高まったこと、ルセフ大統領の弾劾手続きが進展したことがレアルの上昇要因になりました。その後は一進一退の動きとなり、第32期首比ではほぼ変わらずの水準となりました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

○ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。な

ダイワ・ブラジル株式ファンド

お、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サントンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率をおおむね95%程度以上としました。

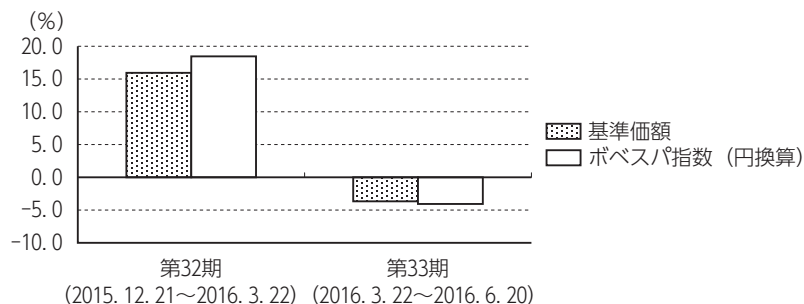
○ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

当期間は、株式組入比率を96～98%程度とし、成長性、株価バリュエーション等の分析に基づき、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、財務体質が堅実で業績拡大が見込まれた ITAU UNIBANCO（金融）やバリュエーションが魅力的であった BANCO BRADESCO（金融）などの銀行株、安定的な業績成長が見込まれた飲料の AMBEV（生活必需品）などを高位の保有としました。

ベンチマークとの差異について

当期間のベンチマーク（ボベスパ指数（円換算））の騰落率は13.6%の上昇となりました。一方、当ファンドの騰落率は11.7%の上昇となりました。生活必需品セクターのオーバーウエートがマイナス要因となりました。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



分配金について

第32期および第33期は、分配方針通り、基準価額の水準を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第32期	第33期
		2015年12月22日 ～2016年3月22日	2016年3月23日 ～2016年6月20日
当期分配金（税込み）	(円)	—	—
対基準価額比率	(%)	—	—
当期の収益	(円)	—	—
当期の収益以外	(円)	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,134	1,141

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率を高位とする方針です。

○ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第32期～第33期		項 目 の 概 要
	(2015. 12. 22～2016. 6. 20)		
	金 額	比 率	
信託報酬	31円	0. 905%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は3, 376円です。
(投信会社)	(15)	(0. 431)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(15)	(0. 431)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 043)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0. 058	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(株式)	(2)	(0. 058)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0. 003	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0. 003)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	5	0. 137	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0. 042)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(3)	(0. 092)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	37	1. 102	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年12月22日から2016年 6月20日まで)

決 算 期	第 32 期 ～ 第 33 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	313,333	114,000	647,086	240,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年12月22日から2016年 6月20日まで)

項 目	第 32 期 ～ 第 33 期
	ダイワ・ブラジル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,244,202千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,576,269千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.34

(注 1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第32期～第33期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第31期末	第 33 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	7,562,086	7,228,333	2,826,278

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年 6月20日現在

項 目	第 33 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	2,826,278	99.0
コール・ローン等、その他	28,714	1.0
投資信託財産総額	2,854,993	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝104.69円、1ブラジル・レアル＝30.65円です。

(注 3) ダイワ・ブラジル株式マザーファンドにおいて、第33期末における外貨建純資産（3,745,939千円）の投資信託財産総額（3,786,446千円）に対する比率は、98.99%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年 3月22日)、(2016年 6月20日) 現在

項 目	第32期末	第33期末
(A)資産	3,050,885,999円	2,854,993,203円
コール・ローン等	20,122,931	19,714,998
ダイワ・ブラジル株式マザーファンド（評価額）	3,025,763,068	2,826,278,205
未収入金	5,000,000	9,000,000
(B)負債	19,758,535	23,476,067
未払解約金	8,378,159	10,103,656
未払信託報酬	11,346,654	13,299,157
その他未払費用	33,722	73,254
(C)純資産総額（A－B）	3,031,127,464	2,831,517,136
元本	8,108,826,685	7,862,893,272
次期繰越損益金	△ 5,077,699,221	△ 5,031,376,136
(D)受益権総口数	8,108,826,685口	7,862,893,272口
1万口当り基準価額（C/D）	3,738円	3,601円

*第31期末における元本額は8,149,191,696円、当作成期間（第32期～第33期）中における追加設定元本額は723,383,744円、同解約元本額は1,009,682,168円で

す。

*第33期末の計算口数当りの純資産額は3,601円です。

*第33期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,031,376,136円です。

■損益の状況

	第32期 第33期	自2015年12月22日 自2016年 3月23日	至2016年 3月22日 至2016年 6月20日
項 目	第32期	第33期	
(A) 配当等収益	1,028円	△ 1,474円	
受取利息	1,028	32	
支払利息	—	△ 1,506	
(B) 有価証券売買損益	433,485,188	△ 93,709,579	
売買益	444,677,533	4,690,716	
売買損	△ 11,192,345	△ 98,400,295	
(C) 信託報酬等	△ 11,380,376	△ 13,338,713	
(D) 当期繰越益金 (A+B+C)	422,105,840	△ 107,049,766	
(E) 前期繰越損益金	△2,408,836,615	△1,854,364,163	
(F) 追加信託差損益金	△3,090,968,446	△3,069,962,207	
(配当等相当額)	(546,601,121)	(543,829,109)	
(売買損益相当額)	(△3,637,569,567)	(△3,613,791,316)	
(G) 合計 (D+E+F)	△5,077,699,221	△5,031,376,136	
次期繰越損益金 (G)	△5,077,699,221	△5,031,376,136	
追加信託差損益金	△3,090,968,446	△3,069,962,207	
(配当等相当額)	(546,601,121)	(543,829,109)	
(売買損益相当額)	(△3,637,569,567)	(△3,613,791,316)	
分配準備積立金	373,720,118	354,001,567	
繰越損益金	△2,360,450,893	△2,315,415,496	

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第32期	第33期
(a) 経費控除後の配当等収益	21,505,840円	5,180,680円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	546,601,121	543,829,109
(d) 分配準備積立金	352,214,278	348,820,887
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	920,321,239	897,830,676
(f) 分配金	0	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	920,321,239	897,830,676
(h) 受益権総口数	8,108,826,685□	7,862,893,272□

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。
- (注 4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：7,585,215円（未監査）

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

運用報告書 第17期（決算日 2016年 6 月20日）

（計算期間 2015年12月22日～2016年 6 月20日）

ダイワ・ブラジル株式マザーファンドの第17期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ブラジルの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにブラジルの企業のD R（預託証券）
運 用 方 法	①主としてブラジルの株式（※）に投資し、中長期的にベンチマーク（ボベスパ指数（円換算））を上回る投資成果をめざして運用を行ないます。 ②経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。 ④株式の組入比率は、通常の状態 で信託財産の純資産総額の80％程度以上に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 ※株式…D R（預託証券）を含みます。
株式組入制限	無制限

大和投資信託

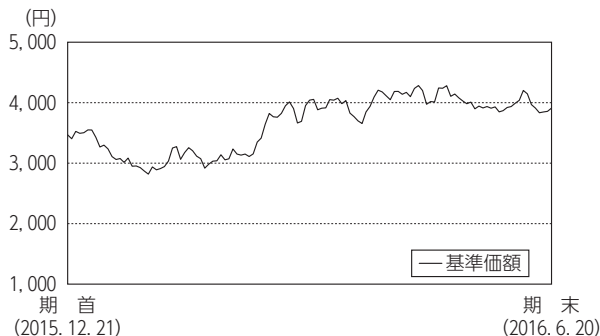
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準価額		ボベスパ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰落率	ベンチマーク	騰落率	%	%
(期首) 2015年12月21日	3,467	—	3,712	—	97.1	—
12月末	3,548	2.3	3,781	1.9	97.0	—
2016年 1月末	3,034	△ 12.5	3,187	△ 14.1	96.3	—
2月末	3,110	△ 10.3	3,283	△ 11.6	96.8	—
3月末	4,074	17.5	4,449	19.9	97.5	—
4月末	4,283	23.5	4,706	26.8	97.8	—
5月末	3,930	13.4	4,226	13.9	97.8	—
(期末) 2016年 6月20日	3,910	12.8	4,217	13.6	97.6	—

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) ボベスパ指数 (円換算) は、ボベスパ指数 (配当込み、ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：3,467円 期末：3,910円 騰落率：12.8%

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。日銀のマイナス金利導入、中国景気の減速懸念の後退、商品市況の反発、ルセフ大統領の弾劾を受けた政権交代への期待などから、ブラジル株式は上昇しました。為替相場は、ブラジル・リアルは円に対してほぼ横ばいの動きとなりました。米国の利上げを受けて新興国全般に対する資金流出懸念などがリアルの上落要因となった一方、株式市況の上昇などでリスク回避姿勢が和らいだことが上昇要因となりました。

◆投資環境について

○ブラジル株式市況

ブラジル株式市況は、期首から、石油会社をめぐる汚職事件や政局に対する懸念に加えて、ブラジル中央銀行の利上げ観測や原油価

格の下落などを背景に、下落基調となりました。その後も、中国景気の減速に対する懸念や商品価格の統落を受けて一段安となりました。2016年 2 月以降は、日銀がマイナス金利政策を導入したこと、中国景気の減速懸念が後退したこと、商品価格が反発に転じたことを背景に、反発基調となりました。その後も、ルセフ大統領の弾劾による政権交代への期待が高まったことや中国景気に対する悲観的な見方が後退したことなどから、続伸しました。4 月には、議会においてルセフ大統領の弾劾案が可決され、新大統領への期待が高まったため上昇が続きました。5 月に入り新政権が発足した後は、ブラジルの景気動向への懸念や米国の利上げ観測に加えて、相次ぐ閣僚の辞任などを受けて上昇幅を縮小させましたが、期首比では上昇しました。

○為替相場

ブラジル・リアルは、期首から、政局の混乱により財政再建の遅れが警戒されたことに加え、米国の政策金利の引き上げを決定したことを受けて新興国全般に資金流入の減少が懸念されたことから、下落しました。その後も、中国経済の不透明感、世界的な株式市況の急落、原油価格の下落などによりリスク回避の姿勢が強まったため、新興国・資源国通貨に下落圧力が掛かりました。2016年 3 月に入ると、原油価格が底打ちし株式市況が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだこと、汚職捜査が政権中枢へ近づくにつれて政権交代期待が高まったこと、ルセフ大統領の弾劾手続きが進展したことがリアルの上昇要因になりました。その後は一進一退の動きとなり、期首比ではほぼ変わらない水準となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント (アメリカ) リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント (アメリカ) リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント (ブラジル) の助言を受けます。

◆ポートフォリオについて

当期は、株式組入比率を96～98%程度とし、成長性、株価バリュエーション等の分析に基づき、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、財務体質が堅実で業績拡大が見込まれた ITAU UNIBANCO (金融) やバリュエーションが魅力的であった BANCO BRADESCO (金融) などの銀行株、安定的な業績成長が見込まれた飲料の AMBEV (生活必需品) などを高位の保有としました。

◆ベンチマークとの差異について

ベンチマーク (ボベスパ指数 (円換算)) の騰落率は13.6%の上昇となりました。一方、当ファンドの騰落率は12.8%の上昇となりました。生活必需品セクターのオーバーウェイトがマイナス要因となりました。

《今後の運用方針》

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント (アメリカ) リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。なお、ダイワ・アセット・マネジメント (アメリカ) リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント (ブラジル) の助言を受けます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	2円 (2)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	5 (2) (3)
合 計	7

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって
受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項
目および算出方法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の
概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

株 式

(2015年12月22日から2016年 6 月20日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		売 付		金 額	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
AMBEV SA-ADR (ブラジル)	千株 116	千円 68,684	円 592	EMBRAER SA-SPON ADR (ブラジル)	千株 27.5	千円 76,712	円 2,789
BRF SA-ADR (ブラジル)	30	48,698	1,623	CIELO SA (ブラジル)	73	73,941	1,012
ITAU UNIBANCO H-SPON PRF ADR (ブラジル)	44	37,559	853	VALE SA-SP PREF ADR (ブラジル)	168.5	54,618	324
LOJAS AMERICANAS SA-PREF (ブラジル)	75	35,582	474	BANCO BRADESCO-ADR (ブラジル)	64.5	47,850	741
ESTACIO PARTICIPACOES SA (ブラジル)	80	34,829	435	TRACTEBEL ENERGIA SA (ブラジル)	40.5	39,030	963
IOCHPE-MAXION S. A. (ブラジル)	75	31,293	417	RAIA DROGASIL SA (ブラジル)	21	36,635	1,744
ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR (ブラジル)	125	29,666	237	AES TIETE ENERGIA SA-UNIT (ブラジル)	81	35,403	437
SAO MARTINHO SA (ブラジル)	18.5	28,450	1,537	ITAU UNIBANCO H-SPON PRF ADR (ブラジル)	36.5	34,856	954
MULTIPLAN EMPREENDIMENTOS (ブラジル)	12.5	22,617	1,809	TELEFONICA BRASIL-ADR (ブラジル)	25	33,178	1,327
HYPERMARCAS SA (ブラジル)	32	21,915	684	ESTACIO PARTICIPACOES SA (ブラジル)	85.5	30,292	354

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

外国株式

銘柄	期首		当期		期末		業種等
	株数	株数	評価額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円			
ITAU UNIBANCO H-SPON PRF ADR	6,186.94	6,261.94	5,266	551,328	金融		
GERDAU SA -SPON ADR	1,440	—	—	—	素材		
BRF SA-ADR	1,018	1,228	1,608	168,412	生活必需品		
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	500	500	406	42,556	公益事業		
BANCO BRADESCO-ADR	4,815.31	4,827.34	3,383	354,267	金融		
PETROLEO BRASILEIRO-SPON ADR	1,464	1,340	887	92,868	エネルギー		
AMBEV SA-ADR	4,900	5,880	3,175	332,411	生活必需品		

ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

銘柄		期首	当	期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
TELEFONICA BRASIL-ADR		809.8	559.8	656	68,685	電気通信サービス
PETROLEO BRASIL-SP PREF ADR		3,247	3,262	1,683	176,213	エネルギー
VALE SA-SP PREF ADR		4,425	2,740	975	102,118	素材
VALE SA-SP ADR		350	350	156	16,342	素材
EMBRAER SA-SPON ADR		420	145	304	31,893	資本財・サービス
FIBRIA CELULOSE SA-SPON ADR		580	720	560	58,718	素材
CIA PARANAENSE ENER-SP ADR P		—	260	204	21,448	公益事業
ULTRAPAR PARTICIPAC-SPON ADR		498	391	805	84,323	エネルギー
CIA BRASILEIRA DE DIS-SP PRF		255	255	324	33,983	生活必需品
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	30,909.05	28,720.08	20,399	2,135,572	
	銘柄数＜比率＞	15銘柄	15銘柄		<56.5%>	
(ブラジル)		百株	百株	千ブラジル・レアル	千円	
USINAS SIDER MINAS GER-PF A		1,200	—	—	—	素材
ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR		3,328.09	4,975.89	3,552	108,892	金融
BRADESPAR SA -PREF		750	750	603	18,504	素材
COSAN SA INDUSTRIA COMERCIO		400	485	1,587	48,668	エネルギー
CCR SA		2,030	2,030	3,166	97,062	資本財・サービス
NATURA COSMETICOS SA		290	190	431	13,230	生活必需品
CIA DE TRANSMISSAO DE ENE-PF		240	160	960	29,428	公益事業
CPFL ENERGIA SA		1,021.62	1,264.47	2,554	78,287	公益事業
LOJAS RENNEN S. A.		1,040	1,390	3,187	97,689	一般消費財・サービス
LOJAS AMERICANAS SA-PREF		509.05	750	1,107	33,929	一般消費財・サービス
JBS SA		2,160	1,960	1,885	57,791	生活必需品
SUZANO PAPEL E CELULO-PREF A		1,330	1,430	1,707	52,332	素材
TRACTEBEL ENERGIA SA		405	—	—	—	公益事業
EDP - ENERGIAS DO BRASIL SA		—	460	580	17,778	公益事業
BM&FBOVESPA SA		2,630	2,860	4,596	140,868	金融
AES TIETE ENERGIA SA-UNIT		410	—	—	—	公益事業
MULTIPLAN EMPREENDIMENTOS		—	125	732	22,451	金融
BR MALLS PARTICIPACOES SA		190	247	288	8,849	金融
CIELO SA		1,524.24	1,045.08	3,465	106,217	情報技術
HYPERMARCAS SA		600	640	1,785	54,728	生活必需品
EQUATORIAL ENERGIA SA - ORD		290	130	617	18,922	公益事業
IOCHPE-MAXION S. A.		—	750	1,079	33,079	資本財・サービス
BANCO SANTANDER BRASIL-UNIT		565	565	994	30,478	金融
RAIA DROGASIL SA		640	590	3,518	107,831	生活必需品
SAO MARTINHO SA		—	185	976	29,933	生活必需品
ESTACIO PARTICIPACOES SA		855	800	1,264	38,741	一般消費財・サービス
CETIP SA-MERCADOS ORGANIZADO		755	565	2,364	72,472	金融
KLABIN SA - UNIT		495	715	1,144	35,085	素材
KROTON EDUCACIONAL SA		2,000	2,000	2,548	78,096	一般消費財・サービス
ALUPAR INVESTIMENTO SA-UNIT		810	862.65	1,117	34,240	公益事業
ALUPAR INVESTIMENTO SA-RTS		—	110.65	5	172	その他
BB SEGURIDADE PARTICIPACOES		1,105	1,030	2,796	85,711	金融
ブラジル・レアル通貨計	株数、金額	27,573	29,065.74	50,619	1,551,477	
	銘柄数＜比率＞	27銘柄	29銘柄		<41.1%>	
ファンド合計	株数、金額	58,482.05	57,785.82	—	3,687,050	
	銘柄数＜比率＞	42銘柄	44銘柄		<97.6%>	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年6月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	3,687,050	97.4
コール・ローン等、その他	99,395	2.6
投資信託財産総額	3,786,446	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝104.69円、1ブラジル・レアル＝30.65円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産(3,745,939千円)の投資信託財産総額(3,786,446千円)に対する比率は、98.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年6月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,786,446,349円
コール・ローン等	75,071,585
株式(評価額)	3,687,050,786
未収入金	8,417,834
未収配当金	15,906,144
(B) 負債	9,900,000
未払解約金	9,900,000
(C) 純資産総額(A－B)	3,776,546,349
元本	9,658,495,171
次期繰越損益金	△ 5,881,948,822
(D) 受益権総口数	9,658,495,171口
1万口当り基準価額(C／D)	3,910円

* 期首における元本額は10,215,877,787円、当期中における追加設定元本額は446,392,669円、同解約元本額は1,003,775,285円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ブラジル株式ファンド7,228,333,007円、ブラジル株式オープン1,960,341,449円、ダイワ・エマーシング&ジャパン・ファンド437,230,034円、ダイワ新興4カ国株式ファンド(ダイワSMA専用)32,590,681円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は3,910円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,881,948,822円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月22日 至2016年6月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	53,314,459円
受取配当金	53,050,375
受取利息	18,286
その他収益金	250,100
支払利息	△ 4,302
(B) 有価証券売買損益	403,142,633
売買益	828,159,612
売買損	△ 425,016,979
(C) その他費用	△ 4,714,785
(D) 当期損益金(A+B+C)	451,742,307
(E) 前期繰越損益金	△ 6,674,003,745
(F) 解約差損益金	629,505,285
(G) 追加信託差損益金	△ 289,192,669
(H) 合計(D+E+F+G)	△ 5,881,948,822
次期繰越損益金(H)	△ 5,881,948,822

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。